

報恩抄

御文①

御書新版……261ページ 2行目～6行目
御書全集……328ページ 15行目～329ページ 1行目

一には、日本乃至一閻浮提一同に、本門の教主釈尊を本尊とすべし。いわゆる宝塔の内の釈迦・多宝、外の諸仏ならびに上行等の四菩薩、脇士となるべし。二には、本門の戒壇。三には、日本乃至漢土・月氏・一閻浮提に、人ごとに有智・無智をきらわず一同に他事をすてて南無妙法蓮華經と唱うべし。このこといまだひろまらず。一閻浮提の内に仏の滅後二千二百二十五年が間、一人も唱えず。日蓮一人、南無妙法蓮華經・南無妙法蓮華經等と声もおしままず唱うるなり。

現代語訳①

一つには、日本に始まり全世界に至るまで一致して本門の教主である釈尊を本尊としなければならない。具体的に言えば、宝塔の内の釈尊・多宝仏、そのほかの仏たち、それに行行の四菩薩は、当然その脇士となるのである。

二つには、本門の戒壇である。三つには、日本から中国・インド・全世界に至るまで、誰であれ智慧の有無に関係なく、一致して他のことに構わずにひたすら南無妙法蓮華經と唱えなければならない。

このことはまだ広まっていない。全世界の中で、釈尊が亡くなってから二千二百二十五年の間、一人も唱えていない。私一人だけが、南無妙法蓮華經、南無妙法蓮華經と、声も惜しまず唱えているのである。

御文②

御書新版……261ページ 10行目～14行目
御書全集……329ページ 3行目～7行目

日蓮が慈悲曠大ならば、南無妙法蓮華經は
万年の外未来までもながるべし。日本国の
一切衆生の盲目をひらける功德あり。無間地
獄の道をふさぎぬ。この功德は、伝教・天台
にも超え、竜樹・迦葉にもすぐれたり。極樂
百年の修行は穢土の一日の功に及ばず。正像
二千年の弘通は末法の一時に劣るか。これひ
とえに、日蓮が智のかしこきにはあらず、時
のしからしむるのみ。春は花さき、秋は菓な
る。夏はあたたかに、冬はつめたし。時のし
からしむるにあらずや。

現代語訳②

日蓮の慈悲が広大であるなら、南無妙法蓮華經は万年のさらに先の未来までも流布するにちがいない。日本国のあらゆる衆生の盲目を開いた功德がある。無間地獄への道をふさいだのである。

この功德は伝教や天台をも超え、竜樹や迦葉よりもすぐれている。極樂での百年の修行は、穢土での一日の善行に及ばない。正法時代・像法時代二千年の弘通は、末法の時代のわずかな期間の弘通に劣るだろう。

これは、私の智慧がすぐれているということではまったくなく、時がそうさせているだけである。春は花が咲き、秋は果実が実る。夏は暖かく、冬は冷たい。これらも時がそうさせているのではないか。

御文③

御書新版……262ページ 5行目
御書全集……329ページ 13行目～14行目

されば、花は根にかえり、
真味は土にとどまる。この功
徳は故道善房の聖霊の御身に
あつまるべし。

現代語訳③

それ故、花は散って根
に帰り、本当の味は土の
中に残る。この功德は、
故道善房の御聖霊に集ま
るに違いない。